

北海道大学大学院・環境科学院・南極学カリキュラム
南極学特別実習 III(2020年5月13日開講)

担当： 樋口和生(国立極地研究所：野外行動技術一般を担当)
中村一樹(防災科学技術研究所：気象に関する技術を担当)
杉山慎、白岩孝行、的場澄人、下山宏、森章一(環境科学院・低温科学研究所)
教室： 基本的にオンライン講義(7月以降に状況が許せば野外実習)
時間： 16:30～18:00(5時限)

授業の目標：

- ・極地や山岳地域などの環境で学術的な観測を行うために必要な、野外行動技術を学ぶ。
- ・野外での観測中に起こりうる危険、緊急時の対処法などの実践的知識と技術を習得する。

到達目標：

- ・野外観測に必要な行動技術、装備の使用方法を習得する。
- ・野外観測中に予想される危険について理解し、事故を防ぐための対策を学ぶ。
- ・救命、負傷者の輸送、クレバス救出など、緊急時の対処技術を習得する。

室内講義・実習日程

	担当	日付	内容	受講生準備	教材
1	杉山	5/13(水)	オリエンテーション、個人装備、ロープによる確保・救助技術		
2	樋口	5/20(水)	極地活動に必要な装備、ロープワーク		ロープ、スリング、カラビナ等
3	樋口	5/27(水)	地形図の読み方	定規、コンパス、分度器	地図、スリング、コンパス
4	下山	6/3(水)	野外観測におけるGPSの活用	GSP又はGPS付携帯電話	GPS
5	中村	6/10(水)	山と平野の気象の違い		気象図
6	中村	6/17(水)	気象情報の使い方、観天望気		
7	白岩	6/24(水)	野外観測の立案と計画		
8	樋口	7/1(水)	救急法、テーピング		テーピング

野外実習

		日	内容	受講生準備	教材
1	樋口 他	7月中旬以降 (土・日)	野外実習(地図読み、GPS、観天望気、ロープワークなど)	装備表参照	ロープ、GPS、コンパス他